

ナシ栽培におけるスピード・スプレーヤ使用時の

農薬飛散低減

茨城県農業総合センター園芸研究所

ナシ病虫害防除にスピード・スプレーヤ（S・S）を使用して農薬散布を実施する場合、「S・Sの送風量の半減」、「ネットの展張」、「ドリフト低減ノズルの装着」を行うことにより、農薬の飛散（ドリフト）を低減することが可能です。

農薬飛散低減の方法

1. 基本事項の励行

- できる限り風のない時間帯に散布する。
- 簡易な風見鶏を設置するなど風向きに気をつける。
- 園周辺の状況をよく観察して飛散の危険性を把握する。
- S・Sの性能を確認する。

2. 送風量、噴口の調整

- 園の周縁部の散布では送風量を半減する。
- 最も隣接部に近い外周の散布では、外周に向けた噴口を閉じる。

3. ドリフト低減ノズルの装着

4. ネットの展張

- ドリフト低減効果の高い方法
 - ・散防紗（N社製）を展張する。
 - ・サイドネットを4mm目と2mm目のダブルで展張する。
 - ・サイドネット（4mm目）を展張する。
 - ・多目的防災網（9mmクロス目）を展張する。

※上記方法を単独又は組み合わせて実施する。



写真1 散防紗（N社製：水色のネット）

・注意点

- 1) ネットの価格は、2m幅の50mロール単位で、1m当たり、4mm目ネットが120円、2mm目ネットが220円、散防紗が280円である。
- 2) DLコーンノズル（ドリフト低減ノズル）の価格は、1セット16個で27,000円であり、アタッチメントが必要なS・Sでは、さらに48,000円（1個当たり3,000円）が必要となる。
- 3) 送風量の変更は、動翼の角度が変更できる機種では、動翼角度の調整により送風量を半減する。動翼の角度が変更できない機種では、エンジン回転を落とすことにより送風機の回転を落とす方法で送風量を減らす。